

日赤奉仕団が特別支援教育への  
功績で顕彰受ける



東川町赤十字奉仕団（松岡たみ委員長）が、道立東川養護学校の開校以来30年間にわたって取り組んできた校内ガラス拭き清掃のボランティア活動に対して、特別支援教育活動への功績で顕彰を受けました。11月7日、同校で高橋正志校長から表彰伝達を受けました。全国特別支援教育推進連盟、北海道特別支援学校長会などが主催して開いた北海道特別支援教育振興大会・北海道特別支援教育関係PTA研究大会の第13回合同大会（10月19、20日、室蘭市）の大会上、特別支援教育への貢献があった全道2団体11人のうちのひとつとして長年の活動が高く評価を受けました。同奉仕団の団員は約40人。春と

秋の年2回、PTAの皆さんと一緒に半数ずつで同校の校内ガラス拭き清掃ボランティア活動を続けています。

金沢さん、ねりんピックで4位  
入賞

町社会福祉協議会ヘルパーの金沢恵みさん（63）が、第26回全国健康福祉祭こうち大会・ねりんピックよさこい高知2013（10月26日から29日まで高知県内で開催）のマラソン（梶原町会場）の70歳未満（3キロ）の部で北海道代表選手として出場、4位入賞の快挙を果たしました。

2009（平成21）年の北海道大会を皮切りに石川県大会（2010年）に続いて2年ぶり3回目の出場。期間中好天に恵まれ、体調も万全に出場できたそうです。成績はトップに1分11秒差の13分21秒。「コースは坂本竜馬が脱落した道だという竹藪の小道。71歳の方と一緒に話をしながら走ったら、トップになれなかった」とにが笑い。「でもようやく1キロ



5分の壁を破れました」と満足の結果だったよう。同大会では馬淵英子さん（21区）もゲートボール競技の北海道代表チーム「ホープ大雪」の選手として町内から出場しました。

**盛永さん、道スポーツ推進委功  
労者表彰を受賞**  
町スポーツ推進委員、盛永小夜子さん（7北）が本年度の北海道スポーツ推進委員功労者表彰を受賞しました。

町民体育祭の運営、ひがしかわ水まつりなど各種催しの運営を通じて、2001（平成13）年から町の地域活動の推進貢献が評価されました。10月29日千歳市で開催した北海道スポーツ推進研究協議会の席上、受賞しました。

**スキー&スノーボード教室を開  
きます**  
東川町スキー連盟  
キトウシ森林公園キャンモアスキービレッジを会場に、小学3年生以上対象の町民スキー&スノーボード教室を開きます。初めての方も大歓迎です。

期間 来年1月11日（土）、同月12日（日）、同月13日（月）の3日間  
場所 キャンモアスキービレッジ  
時間 午後1時半から2時間

定員 40人  
受講料 大人3千円（中学生以上、スキー連盟会員は2千円）、子供2千円（小学生）、申し込み時に支払い  
締め切り 12月30日（月）  
申し込み・お問い合わせ 所定の申し込み用紙で役場内スキー連盟事務局（担当・企画総務課吉原、都市建設課金山）まで、申し込み用紙は連盟事務局にあります

町技バレーボール大会の出場  
チーム募集

第33回町技バレーボール大会の出場チームを募集します。試合形式は男女混合9人制リーグ戦です。日時 12月15日（日）午前9時（開会式）から（主将会議は午前8時45分）  
会場 東川中学校体育館  
出場資格 一般男女（中学生以上）  
参加料 1チーム3千円（学生2千円）  
締め切り 12月10日（火）  
申し込み 東川町バレーボール協会（事務局・役場写真の町課、大角）

「小太鼓」30周年記念の新曲「疾  
風」披露



第一小学校（澤田安男校長、児童29人）の「小太鼓」に新曲が誕生しました。その名は「疾風（KAZE）」。

10月27日開いた学芸会の冒頭、体育館会場で全校生が練習成果を披露しました。小太鼓は町の郷土芸能、羽衣太鼓を伝承するために始まり30周年を迎えました。「なかよし太鼓」に続いて3曲目の演奏曲ができました。1〜3年生8人でなかよし太鼓を披露した後、3年生以上の21人が残る2曲を熱演しました。

小太鼓の新たな伝統を継ごう、と一生懸命練習した素晴らしい演奏に、ビデオカメラが並んだ客席から大きな拍手が沸きました。新曲は、11月3日開いた町民総合文化祭のステージで町内の皆さんにも披露しました。

北央信組が町の交通安全運動に  
と寄付



11月18日、北央信用組合（本店札幌、足立真理事長）と役員一同から、それぞれ町に多額の現金寄付をいただきました。

足立理事長と同組合職員が来庁し、合田博副町長が寄付金を受け取りました。

2007（平成19）年に次いで2年度目。2005（同17）年に同組合職員が交通事故で死亡したことをきっかけとして交通安全活動への取り組みを始めたそうです。その一環として交通安全募金を開始。道内35営業所の所在市町村で交通安全運動に寄与するための資金に役立ててもらおう寄付を続けているということです。ありがとうございました。

三井生命旭川営業部からサクラ  
の苗木寄贈

10月22日、三井生命保険（旭川営業部の宮本蓉子営業部長、写真中央、花本弓子さん、同左）の2人が町教育委員会事務局を訪れ、林万里教育長にオオヤマザクラの苗木100本を寄贈しました。来年新築移転して開校する新東川小学校に桜並木を」と寄贈いただきました。ありがとうございました。



産業用大麻フォーラム開く

10月21日、北工学園地域生活支援センター、ふれ愛の郷で「産業用大麻新生フォーラム」が開かれました。

町などが中心の実行委員会が主催しました。産業用大麻の普及拡大活動をしている前上川農業試験場長の菊地治己さん（旭川市、農

業活性化研究所代表）、北見市内の農業法人・香遊生活社長舟山秀太郎さん、（有）うさとジャパソ社長、さとうさぶろうさんが産業用大麻の有用性を訴えました。



自然な繊維原料素材としての魅力、輪作体系に組み込みでき、地力を回復できる魅力的な農作物としての可能性、バイオ燃料抽出原料としての作付け可能性などが期待できるといい、全国から100人以上が来場して情報交換をしました。

植田さん、旭川市体育協会のス  
ポーツ功績賞受賞

長く陸上競技スポーツの振興に尽くしてきた北町2、植田豊さん（78）が本年度の旭川市体育協会スポーツ功績賞を受賞。10月30日、松岡市郎町長に受賞報告に来庁しました。旭川、士別、名寄、稚内、富良

野の道北5支部で組織している道北陸上競技協会の監事を20年以上務め、陸上競技振興への功績が認められました。70歳を過ぎてからも世界マスターズ大会に連続挑戦して入賞するなど、陸上選手としても長く活躍しています。表彰式は同月14日、旭川市内で開かれました。



北朝鮮人権侵害問題の啓発週間  
です

旭川東警察署  
12月10日（火）から同月16日（月）は、北朝鮮人権侵害問題啓発週間です。  
日本人拉致被害など、いまだ解決していない北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）に係る人権侵害問

題を解明し、国際社会と連携してその抑止を図りましょう。

振り込め詐欺！「簡素な給付措  
置」が来たら110番

厚生労働省  
市町村や厚生労働省、またはその職員をかたって自宅や職場などに電話がかかったり、「簡素な給付措置」など何らかの給付表現を表記している郵便物が届いたら、役場、旭川東警察署（☎36-00110）、警察相談専用電話（☎9110）まで。

以下のようなことは絶対にありません。こんな内容の連絡が来たらすぐに110番。

▼市町村、厚生労働省など公的機関と名乗って、ATM（銀行、コンビニエンスストアなどの現金自動支払い機）の操作をお願いする▼ATMを自分で操作して、どこかの機関、または他の人からお金を振り込んでもらう▼市町村、厚生労働省などと名乗って「簡素な給付措置」の給付のために、手数料などの振り込みを求める▼市町村、厚生労働省と名乗って、住民の皆さまの世帯構成、銀行口座の番号など、個人情報照会する